検討をはじめ

コツー

ij

、ズム推進協議会でも入

Ш 工 \hat{o} 深

観光客の増加が原因で、

現地 **医登録後**

0

刻である。

世

界自然遺産

けて発表会を行なった。

広く関係者やマスコミに

呼び

屋久島のオーバ

ーユー

・スが

11 界自然遺産プロジェ 月2日 然保護委員会では、 このたび提 の問題に取り組 屋久島で、 言書を作成、 11 月 クトを立ち 7 4 日 んできた。 昨 年 末 屋

久島を危機遺産にさせては け な ()

Щ Ϊĺ 陽

ッ

産プロジェ れている。 世界自然遺 との意見交換を行な 提言」をまとめた。 クトを立ち上げて、 自 産 |然保護委員会では、 0 屋 久島が、 そのリーダーである山川陽一氏が報告する。 あるべき屋久島の姿について検討を進 観光客や登山 数次にわ 2009年12月 たって現 |者の 増 加 |地調査や関係| から世界自然遺 で岐路に立たさ め

屋久島問題取り組みのいきさつ

対応を問う 破壊が深刻である。 観光客が急増し、 世界自然遺産登録後、 それに伴う環 H |本山 屋久島 岳会 で

然保護全国 1年6月、 |集会の席上、 田 で行なわれた自 屋久島 か

続けば、

危機遺産リスト入りと

最

態の

事態も想定され

屋久島は洋

上

0)

アルプスとも

屋久島のように社会性を持

を招いてい

る。

今後もこの

状態 の結

が 果

ち壁に突き当たる。

十人十色、

が各様の異なる意見を持

って

利害関係者も多い。

まして

つながるという本末転

倒

を解

決しようとしたとき、

たちま

61

問

題提起までは

できてもそれ

「然保護に

関

す Ź

問

題

は

難

L

屋久島· らこん を守り人 産として登録された。 とともに日本で最初の世界自然遺 出されたレ 本博会員 屋久島は19 在 な 、間との共生を目指す が 住 X ポー 0 太田 セ 93 1 たもの を 五雄会員から提 ジ いが投げ 福岡 その年、 白神 支部 であ 5 畄 ħ 山

観光客が急増し、 光優先の げられた高い理念とは裏腹に、観遺産登録の目的や屋久島憲章で掲 その後の屋久島は、 民の手により屋久島の貴重な自然 久島憲章」 政策がとられ続けた結果、 が制定された。 それが自 この世界自 **|**然破壊 か 島 然 屋 地

> その 称さ 起きている環境上の諸問題 永田 にどれ 題に取り組んだとしても自分たち れわれ岳人として放置できな ら多くの岳人たちが屋久島通 念される してきた。 題であるが、 渓谷に恵まれた山 出岳を頂 山岳自! それを取 れ ほどのことができるか そうした屋久島 然に魅せられて古く 点とした峨 州 最高 り巻く深い 果たして、 岳島 の宮之浦 々たる山 であ この で現 ば、 が懸 美し 13 13 大 わ 在 嶺

・金………13~20時 第2、第4土曜日……閉室 第1、第3、第5土曜日……10~18時 年末年始休室 12月29日~1月5日



2010年(平成22年) 11 月号(No. 786) **類日本山岳会** The Japanese Alpine Club 定価 1 部 150 円 会員の会報購読料は年会費に 含まれています URL http://www.jac.or.jp e-mail jac-room@jac.or.jp

次 目

屋久島を危機遺産にさせてはいけない・・ 1

「一般」か「公益」か――法人改革で理事会が継続して集中討議・・

中国における登山の変遷と変貌するチベット・・

講演会「小島鳥水に学ぶもの」とその功績 ・・ 8	,
東西南北 · · · · · · 10)
菅江真澄の登山	
活動報告 · · · · · · · 11	1
指導委員会/山の自然学研究会	
支部だより・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12	2
秋田支部/茨城支部	
図書紹介 14	1
会務報告 · · · · · · 16	3
ルーム日誌・・・・・・・ 17	7
会員異動17	7
新入会員 · · · · · · · 17	7
図書受入報告17	7
INFOMEATION · · · · · 18	3
学生ネットワーク作り(3)	
若者に日本山岳会の将来を託す・・ 19	9
▶日本山岳会事務(含図書室)取扱時間	ij
月・火・木・・・・・・10~20ほ	
_l,	

う」という強い危機感を共有して いたからにほかならない。 できたのは、プロジェクトのメン そんな実力があるのか」「島のこ 産入りも現実のものになってしま りを覚悟で取り組む決意をし、提 貴重なご意見をいただいた。そう 出がましい」など、多くの方から とは島に任せておけばいい。差し きな問題はひと筋縄ではい 言書の発表までこぎつけることが した状況のなかで、批判や風当た 「日本山岳会に何ができるの 以下、 **ー全員が「このままでは危機**遺 提言内容について概説す かない。 か。

る。

屋久島の現状と問題点

車をかけた。 とが今日の事態を招いた根本的原 偏重した政策がとられつづけたこ 因である。それに加えて、縄文杉 の人気や百名山ブームがそれに拍 前述したように、世界自然遺産 それが持つ観光的価値に

多の対策が取られてきたが、 ガイド制度などに問題が山積して 15 小屋問題、 具体的には、 ままでも関係者により幾 歩道・自動車道問 「岳トイレ問 それ 題 題

> らすべてが後追いの対症療法であ たため、 根本的問題を抱えたま

ま今日に至っている **あるべき屋久島の姿〟は何か**

価値を取り戻すにはどうしたらい から始めるべきである。 き屋久島の姿、を明確にすること だけでなく実像としての゛あるべ まの屋久島を見つめなおし、 =自然という原点に立ち返ってい いのか。それには、屋久島の価値 こんな現状を打破し、屋久島 理念 0

喧騒は、 が脚光を浴びる前の状態に戻 観光に依存した生活をしている現 ざる気持ちである。一方、ここま その当時の状態に戻ってほしいと て、 の屋久島、 叫ぶことは非現実的である 状を考えれば、一足跳びに縄文杉 で観光地化が進み、 いうのが登山者の立場からの偽ら は何か」と問われれば、 物である。 の山々を歩いてきた登山者にとっ 産など関係なかったときの屋久島 いまの縄文杉コースの混雑と もはや山とは言えない代 もちろん、世界自然遺 「あるべき屋久島の姿 島民の多くが 願わくば 八せと

態系の保全レベルとして世界遺産 当面の目標として、まずは、 生

であると考える。

限をしたうえで、 決にならない。

じた利用環境を整備していくべき

登録の年1993年前後の状態に ながら考えればいい。 完全復活の処方箋は、 としてたどり着いた結論である。 戻すこと」、これがプロジェクト

「屋久島環境管理基準表」の制定

この設定や変更を行なう協議会を かけることが重要である。 有名無実にならないよう歯止めを 設定して、 形式にまとめて明示する。また、 アクセスなどのあるべき状態を表 歩道、トイレ、山小屋、 区分に分け、それぞれの区分別に、 原生保存地域、 光·自然観察路、登山道(A~C) である。島全体の山岳地帯を、 ものが「屋久島環境管理基準表」 は具体的に何か。これを表現した それでは、あるべき屋久島、 あるべき屋久島の姿が 岳参り歩道などの 入下山 観 لح . の

縄文杉がまだ脚光を浴びる前

入島料の徴収

開されることが大前提になる。

入山規制の実施

めには安定的な財源が必要、 持する意見が圧倒的であった。 山岳自然を守ることの必要性を支 入山規制や入山料の徴収により、 に実施した「山の環境意識調査 (回答者1912名) 屋久島のケースでは、 昨年、 継続的に環境整備していくた JAC会員全員を対象 の結果では 一歩進

に放置したままの対策では根本解

一定数の入山者制 その入山者に応

て考えていくと、入山者を無制限

環境保全の観点から突き詰



縄文杉デッキ前で長蛇の列をつくる登山者

計画を持ち、使途や収支決算が公 取り戻すという強い決意と具体的 ることが必要だ。屋久島の価値を 境を守る」という目的を明確にす 入島者全員からお金を徴収する以 している。もちろん、観光目的 「世界自然遺産の島の自然環 入島料徴収 の提 案を \mathcal{O}

使用についても合わせて提案して

入山規制の方法としては、縄文 がループあたりの人数(ガイドを がループあたりの人数(ガイドを 含む)について、それぞれ上限値 含む)について、それぞれ上限値

トイレ問題は放置できない

題がトイレ問題であるといっても になった今日、 保有する浄化能力以内に収まって 過言でない。 て、国民の多くが山に親しむよう なかった。大衆登山の時代になっ いる時代は、それでなんの問題も たり前だった。登山者の数が山 と同じで、野外で済ませるのが当 た。いまや、 かつて山のトイレは、 山岳環境上最大の問 山の事情は一変し 野生動 <u>(</u> 物

人山規制をして「トイレの 意型トイレの導入、携帯トイレの 高型トイレの導入、携帯トイレの 表ると考えるべきである。大山規制をして「トイレ対策を施すことが、入山制限実施の前提条件で とが、入山制限実施の前提条件で あると考えるべきである。

山小屋のありかた

提供のないスタイルの有人化) 避難小屋で実施している寝具食事 屋の有人化 させた定員制の実施と主要な山小 きるかは想像に難くないだろう。 管理人のいない無人小屋で何が起 山者同士で場所取り合戦が始まる。 時には泊まれない客が出たり、 今日に至っている。当然、 者数だけが増加の一途をたどって 状態のままで、以来今日まで登山 提案をしている。 トイレも小屋にひとつしかなく、 現在ある屋久島のすべての 本提言では、入山規制とリンク 20~30年前に建設された (東北や北海道の ピー 0 部 登 ク Ш



縄文杉に隣接した高塚小屋のトイレ

歩道および自動車道のありかた

ることを提案する。 培ってきた石積みの道へ置き換え 木道を廃止し、 険も内包する。恒久策として順次 よる植生破壊や急坂での転落の危 になると同時に、はみ出し歩行に な狭い幅で、 木道も、 著しく景観を損なっている。 や休憩用のデッキが設けられて、 道化され、大掛かりな観覧デッキ |山者の増加に対処してすべて木 現 在、 歩行者のすれ違いが困難 縄文杉コースの歩道 混雑時の渋滞の原 屋久島が伝統的に その は 因

自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること 自然がこれからも保存されること

ガイド制度について

·制度を根本的に見直し、悪評ガい。ガイドは屋久島の顔。ガイを上のいいのであります。

でするどが必要と考える。ですなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。でもなどが必要と考える。

以上、提言の内容を概観したが、本提言は、昨年来、プロジェクトでのシンポジウムの議論を経て、京でのシンポジウムの議論を経て、京でのシンポジウムの議論を経て、京でのシンポジウムの議論を経て、中に数カ月の検討を重ねてまとめ心に数カ月の検討を重ねてまとめである。

成されている。 なお、このプロジェクトは、日本山岳会や自然保護委員会の枠内 を含めるなど広範なメンバーで構 を含めるなど広範なメンバーで構 を含めるなど広範なメンバーで構

てください。 い内容を知りたい方はアクセスしージ)を掲載してあるので、詳しージ

世界自然遺産を考えよう! http://jacsekaiisanprj.sakura ne.jp/

トピックス

法人改革で理事会が継続して集中「一般」か「公益」か――

3月総会で理事会案を審議

一般法人」を選ぶか、それと「一般法人」を選ぶか――。日も「公益法人」を選ぶか――。日も「公益法人」を選ぶか――。日年1月までに選択肢を絞り、理事会案として3月の平成21年度第2会案として3月の平成21年度第2日1日の理事会で固まった今後の日10日の理事会で固まった今後の日間日の理事会で固まった今後の日間により、

①理事会は「一般」か「公益」かの法人対応を引き続き集中的に討議するとともに、会報『山』を通じてJAC会員に、より多くの情報と判断材料を提供するよう努める。

定へ

理事会、

②理事会は遅くとも1月の理事会の意見を聞いたうえで、3員会の意見を聞いたうえで、3月の通常総会に議案として提

請を行なう。
「一般」であれば認定申また「公益」であれば認可申請を、「一般」であれば認可申請を、

定である。 (藤本慶光)早々にも、理事会に提出される予プロジェクトの最終報告書は12月討を重ねてきた法人改革対応検討討を重ねてきた法人改革対応検討

論議を尽くして選択肢決

右記のスケジュールにしたがってJACは、来年3月の総会でのどちらか)を審議し、決定する。総会での審議は、理事会が決めた選択肢を承認するかどうかめぐっ選択肢を承認するかどうかめぐっとがもれ、理事会提案の可否は、当ないよって決まる。書面(委任状)による意思表示が採決に加わることも定款の定めるところでわることも定款の定めるところで

かりに理事会提案が否決され

事業の仕分けと公益目的事業費の

る

不信任を意味している。それだけに理事会の論議の行方、決定はする。理事会はその重みを受け止める。理事会はその重みを受け止めて法人対応と取り組んでおり、同時により多くの会員に関心を持っていただき、理解を深めてほしいと願っている。

行なわれているのか。 事会ではいま、どのような論議がこうした状況認識のなかで、理

いま理事会で

昨年の9月にスタートした法人改革対応検討プロジェクトチーム益法人改革三法への対応を検討し、益法人改革三法への対応を検討し、が新しい公

中間報告は、JACが会(クラー・世間報告は、JACが会(クラービス内容を大きく変化させることなく、また支部活動を過度に「一般」「公益」の二者択一以外に「一般」「公益」の二者択一以外ににしている。またどちらを選ぶにはしている。またどちらを選ぶにはよ、大切な要件となる公益目的せよ、大切な要件となる公益目的せよ、大切な要件となる公益目的せよ、大切な要件となる公益目的

資料として添付した。

れば、それは実質的には執行部

0

その概要は会報2月(777)号の『「再生と復権」4つのプロ号の『「再生と復権」4つのプロ号の『「再生と復権」4つのプロジェクトの現場から』に吉永チージェクトの現場から』に吉永チーとはあくまでも、理事会や総会で議論を進めるに際しての判断材料といるが、それぞれの意見は、今後の自由活発な論議に影響することのないよう公表されていない。

なおプロジェクトチームでは移行に伴う具体案の検討のなかで、
今度の改革法で厳しく求められている法人としてのコンプライアンス (管理体制) の確立に対応しつつ、従理体制) の確立に対応しつつ、従理体制) の確立に対応しつつ、従来の組織・事業内容等をできる限め維持してゆくことを目指して新り維持してゆくことを目指してかくことを目指してある。

分経理等についてである。12月の 別の改定、JACにおける支部の 位置づけ及び支部助成金の扱い、 たとに伴う事業の仕分け、それに ことに伴う事業の仕分け、それに な益目的事業費と共益事業費の扱い、 の本語目の事業を実施しなければならない の本語目の事業を表述目 の本語の表述目 の本語の表述 の本語の の本述 の本語の の本語の の本語の の本 の本 の本語の の本 の本 の本 の本 の本 て活動の自由を確保することを第

般からも一

層信頼を受け、

それが

れる。 まれており、 最終報告には、 こうした内容が含 会報で紹介さ

最近の理事会では、

間ちかくにわたって、突っ込んだ ろまで進んでいる。 それぞれの選択肢を発表するとこ 材料の理解、 動向 とくに11月の理事会では、2時 なども勘案しながら、 審議から、 ほかの法人 各理事が 判断

ぶべきだとしてその根拠を述べた。 きして、あくまでも「一般」を選 意見発表を控えてい A理事は、「これまでは立場上 たが」と前置

議論を闘わせた。

「一般法人」選択を

活動に位置づけることは、 となっていて、それを会の主たる つ多数の利益の増進に寄与する、 の主たる活動の目的が、不特定か 的支出を実現して、将来にわたっ 選択し、これまでに蓄積してきた 的な集団の活動主旨に外れること という登山で結ばれた個人の恣意 なるべく短い期間に多額の公益目 に支出せよとの規定については、 財産に相当する額を公益目的事業 を意味する。この際、一般法人を - 公益法人においてはその法人 J A C

> 展が損なわれるという主張である。 づけられると、 博両会員の意見と同一線上にあり、 号)で紹介された織方郁映、 ニオン」欄 目的事業に50紅以上の支出を義務 あるべきJACの姿であり、 べく自由な立場でいたい。それが、 ているように思われる。 一般」を選択する立場を代表し に考えたい 官庁からの制約を受けず、 Aさんの主張は、 (今年の8月号と10月 JACの健全な発 会報の 「オピ 内田 なる

「公益法人」の主張

集団にはならないだろう。登山 体にとどまらず知識の普及、 の定款にも、 齢化、会員減を念頭に反論した。 専門家集団を追うのであれば、 は、「 J A C は 今後、 るではないか。公益法人を選択す 自然愛護の精神の高揚を図るとあ な登山の指導・奨励、 まうに違いない」と、 ACはみるみる先細りになってし 択を主張した。その理由のひとつ これに対しB理事は また「古くその設立主旨書や今 JACの活動が世間 登山愛好者の親睦団 山の専門家 体育、 JACの高 「公益」 健全 文化、 J 選 0

> だろう、と見る向きもある。 という通達が追い風となって働く に応援するので、早目の申請を れる民による公益の増進を積極的 には厳しいが、公益法人に期待さ る代表的な意見ではなかろうか。 張した。これも「公益」を選択す ACの永続性が期待できる」と主 れることによって組織としての 会員増につなが !舫大臣が「天下りや癒着の法人 この意見には行政刷新担当の ŋ が継続 きわ さ

引き続き議論を

という見方であ

定のハードルがやや低くなった、 めて高いとされていた「公益」認

討議は、 を強調した。理事会での集中的 会での審議が求められていること た。尾上会長は選択論議には加 テータスも違うと思う_ のではないか。公益(認定)と一 であれば、 益法人として認定されるというの までのような活動を継続しても公 理事が議論に加わり討論を重 この日の理事会では、 Cさんも議論に加わった。 (認可)ではやはり社会的 早い方向決定と、 12月の理事会でも予定さ 公益法人のほうがいい 3 月 ほとんど の総 なス わ ね

れてい

理事会に寄せていただきたい。 てゆきたいと思う。疑問点や、こ 理解を深めてもらうことではな 編集長は、 れまでにない視点からのご意見を 応を取り上げ、判断材料を提供し くの会員がこの問題に関心を持ち 事会に出席した会報『山』の神長 こうした選択論議とは別に、 会報では次号もまた法人化対 と緊急課題を投げかけた。 いま必要なのはより多 理

トピックス

中国における登山 の変遷と変貌するチベ 廣 恒 ツ ŀ

成都に向 隊創立50周年記念式典への招待状 突くミニヤコンカが姿を現わす。 飛び立った飛行機の左手に、天を 届いた。 9 玉 代目) かう。 蔵 9月26日、) から、 登 Ш 早朝、 隊 中国 の尼瑪次仁隊 成都空港を 北京経由 ||西蔵登山

が

空港と同じような設備を整えてお いる。 切る大橋が見え、ポプラ並木の黄 ぶりを象徴している。 り、ここ十数年のチベットの発展 色い色づきが秋らしさを演出して を下げるとヤルツァンポー河を横 ベットに来たなと実感する。 15年ぶりに降り立ったラサ いつの間にか日本の地 方

30 ", は れたそうだ。 従来の曲水を経由してい ツァンポー ラサ市内に向かう道路は、 西蔵登山 時間にして30分ほど短縮さ 嘎拉山トンネル、 特大橋の開通 [隊創立 市内に向 $\overline{50}$ 周年記念式 !かう道路に た時 によって より ヤル ラサ

がった登山隊員は貢布・藩多・張

(80年日

一本隊の

連絡官

が授与された。

代表して壇上に上

従事した隊員たちに記念の

ンメダル

されたのち、

20年以上登山活動に

任から栄誉称号牌や報奨金が授与 登山運動管理センターの李致新主 治区孟徳利副主席や国家体育総局

パワフルな記念式典 着たチベット族の姿は皆無である。 編んだ黒い三角テントやチュパを その昔、 重機の立ち並ぶ工場地帯となり、 4車線に変わるとセメント工場や ムードを盛り上げている。 の大きな看板がかかり、 道端にあったヤクの毛で 道路が 祝賀

典の会場で、来賓席の向 門をくぐった。 こが登山隊関係者の席であった。 200余の椅子が用意され、 グタワーが聳え、 の広大な敷地の奥にはクライミン の下で式典が開始された。 「西蔵登 28 日、 10 時 チベットの強烈な日差し 山総合管理センター」 記念式典が行 登山総合訓練基地 その下が記念式 な かいには 西蔵自 わ れ そ 0) る



開発がすすみ変貌するチベットの町

天亮・ 登山家はみんな長生きである。 命が65歳前後のチベットにあって、 しい顔ぶればかりである。 羅 削・仁 仁青平措など、 平均寿 懐 か

り

そのうちに雪を抱いた頂や氷

河の流れを見るようになるとチ

眼下には横断山脈の山々が横たわ

典 ンストレーションと続き、 グ 1 6 タワーを使った遭難救助のデモ ラクション、 式典の 1 民族歌謡・民族舞踊などの 日が終わった。 あとは博物館の見学、 最後にクライミン 長い式 昼 ア

て、 楽しかった思い出が甦った。 たちも元気で参加してお 玉 モランマ、 13 ン中に落石で死亡した仁那 宴会の席上で昔話に花がさき のは残念であったが、 ワ峰登山で寝食を共にした隊員 友好登山、 8 ガッ シャブルムへのキ 88年チョモランマ峰三 90 92年ナムチャバ 80年チョ ーヤラ 前に がい 昼 な 食

> 私が講演を行なった。 シャレンベルガー リン(ネパール山岳協会)、ハンス・ 現 ランススキー登山学校コー 成都フランス領事館副領事・ 北極点・南極点到達)、 協会副主席、 の司会のもと、王勇峰 フ スポンサー)、セルゲ・コーエン(在 状と今後の展望」 H ラムがあり、 高高 七大陸最高峰登頂 度登 (中国登山 山 尼瑪次仁隊長 15 「シス アン・ツェ 中国 つ () テ チ Ĺ 一隊の ての Щ لح

中国登山の変遷 ·国では1955 年に 登

貢布 登山 られ、 が始まった。 中 峰と十月峰に登頂している。 グール・チュビエの初登頂がなさ ムスターグ・ を行ない、 連に派遣しコーカサス山地で訓練 なった。この年4名の登山家をソ 正式にスポーツとして取 華全国総工会に登山部門が設け がミニヤコンカ登 中 国隊創立。 組織的に行なわれるように 一登山協会が発足。 女性を含めた登山者の養成 その後パミー 5月25日、 中華全国総工会登山 アタの初登頂やコン の3名がチョモラン ソ連との合同登山 頂。 り入れ ルの団結 56 年、 Ш 5 が

誕生。 世界で2番目の女性登頂者(藩多 マ北東稜 ンマ峰初登頂。 最 稜 後の (当時) (当時) 8 0 より初 75年チョモラン から再度登頂 お峰シシ 登頂 ヤ 64

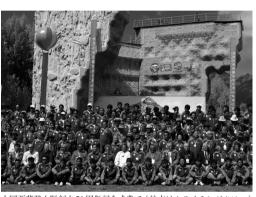
巴扎西の3人がいる。 これをもって8000 峰初登頂の主要メンバーとなり、 ら92年にかけてのナムチャバルワ ネパール三国友好登山隊、 この時の参加者が88年日本・中国 登頂者には、 なわれたヒ 93 中国・チベット登山隊員が参加 14 マ登山に高所協力員として多くの 座登 年から 2007 年にかけて行 頂 日本山 0 原動力となっている。 マラヤ8000以峰 次仁多吉、 岳会の チョ 90 年か ーモラン 辺 座

ち漢族は72人であ 山学校のメンバ 増など、 ら本年5月末までに8回 て多い。 が自国内にあるとあって、 (者はネパール、アメリカに続 西蔵登山隊) また世界最高峰チョ 人に及び、 3 複数登頂を含めると延べ その数は 1人である。 1 の隊員は63 は C T M ŋ $\begin{array}{c} 1 \\ 9 \\ 6 \\ 0 \end{array}$ 1 6 6 西 モ 登頂 そのう l蔵族 その登 ラン Т の丹 年 か マ

> までに ヒマラヤ登山の登竜門となって 人である。 うち漢族は66 るようである。 1 6 1 人であり西蔵族 個人で見るとこれ が登 損し、 その ば 95 15

ど関連産業の発展を目指している う 間 年齢35歳)と、 推進・展開して、 体育総局と区・省が共同で登山 60人の生徒が寄宿生活をし、 るのがCTMTの隊員36名 発展を促進する機会を作り出そう としている。それを下支えして を予定し、 かけて登山 来年には国際登山 の存在である。 さらなる西蔵 技術の研鑚を行な 登山学校 地域の観光業な 中国では国 [大会の の登 (無料で 平均 3 年 開 Ш を 家 0) 催

バ



観光客を当て込

ている。

変貌するチベット ことが 何える

国境近くまで足を延ばしてきた。 バルワ峰から西は吉隆のネパー 95年と四季を通じ、 によるチョモランマ登山の時であ 首 は、 |府であるラサに足を踏み入れた 私が初めてチベッ 以来、 1980年、 87 88 東はナムチャ 90 日 ١ 本山 自 91 治 92 [岳会 X ル 0

2 来には地 周年に合わせた改修工事により ラサを訪れる観光客が年々増加 してから中国をはじめ世界中から 紫色の空に朝餉の白い煙がたなび ト族の住宅が立ち並び、早朝の赤 ラ宮の前は薄汚れた白壁のチベッ た。「神の土地」を象徴するポ 地でラサに向かう人の群 う放牧の民、 あげる未舗装道路とヤクや羊を追 ター茶の匂い、 4年に世界遺産に登録 ていた。 その頃の強烈な記憶は、 鉄道開業以降 05 年 の ポタラ宮前の住宅は取り払わ 06年夏に青蔵鉄道が開業 下道が通じてい そのポタラ宮は チベット自治区成立 チベット族のすする 各地から五体投 東側の道路 n であ 砂塵を さ 19 れ A 広 40

9 ί,

> 区となってお などが林立し、 0 町 Ø) 入もあ 近代的 国 西 車 一の地方都 側 は漢族 って 0 言な建物が デ 1 :市と変 1 の居住 は が立 ラー

収入は29・3 紅増加したという。 年同期と比べると客数は21・95% 観光収入は28億 7701元。 ラサのチベット族の比率は低下し ている。漢族や回族の入植が進み まっており町を二分した形となっ 広告が載っていた。一方、チベ ち並ぶ景観は中 光客は延べ330 1~7月チベットを訪れた内外観 ている。 族の住居はジョカンの東側 級住宅街も作られ、 わらない。 ・国通信によると、 キチュ河 万7391人で、 新聞にも分譲 の中 州には高 に集 、ツト 今年

*・離れたチベット第2の都市シガ す ツェを結ぶ鉄道工事も始まった。 9月末にはラサから西へ 280 の改造工事と関連施設の工事や、 次5カ年計画の一環でコンガ空港 きな影響を及ぼさないことを願 大開発」 中国の国 からの伝統と景観や生態系に大 チベットではあるが、 これからも大きく発展 のもとで、 「家プロジェクト 「西部 自治区の第11 開 丘を目指 が古

講演会「小島烏水に学ぶもの」とその功績

四国同好会 尾野益大

心にメモをとった。 幅広い功績について耳を傾け、 った経緯、登山だけに収まらない て近代アルピニズムを広めるに至 水の生い立ちや烏水が日本で初め 員)。会員や一般登山愛好者約85 講師は鳥水研究の第一人者である 内の文化の森21世紀館で講演会 る四国同好会が10月17日、 作家・近藤信行氏(元理事・評議 「小島鳥水に学ぶもの」を開いた。 H 本山岳会の四国在住者で作 近藤氏が語る四国出身の鳥 、徳島市

横浜商業学校に通った。一家は明 好遇されなかった。鳥水の家族は は明治維新後、佐幕についたため という。「鳥水が生まれた高松藩 についてはあまり語らなかった」 ら聞いた記憶しかなかった。父親 とを紹介。「故郷については母か 県高松市で、2歳で東京に出たこ ちについて、誕生地は現在の香川 東京から横浜に移り住み、鳥水は 治政府に受け入れられる存在でな 初めに近藤氏は、鳥水の生い立 いろいろな苦労を味わうこと

> る」ことも指摘した。 なかで鳥水の功績が見逃されてい 点を挙げた。さらに「一葉研究の いち早く「一葉女史」をまとめた して、樋口一葉が亡くなった直後 れ活躍がめざましくなった理由と 似ているといわれたことに由来す 滝沢秋暁から鵜の真似をする鳥に になった」と続けた。 る」と紹介。鳥水が文壇で注目さ 明治30年ごろから使われ始めた。 「鳥水」という雅号については、

国外に流出した文化的財産を収集 生まれた」と解説し「文学評論、 びながら生き、文学も面白くなっ 指摘し、古いものに学びながら仕 代化し、街道や鉄道が整備され未 メリカ西海岸に滞在中、日本から 評価した。鳥水が銀行員としてア で鳥水は仕事をしてきた」と高く ていった。鳥水はそうした時代に 事をしたことを強調。「過去に学 知なるものを求める時代だったと 人々が活躍した時代は、 鳥水ら明治初年に生まれた 紀行文などあらゆる点 日本が近



小島鳥水について語る近藤信行氏

着目。烏水の最初の著書『扇頭 きっかけとして旅があったことに していたことにもふれた。 近藤氏は、鳥水が山に目覚めた Щ

る。 本だ」と讃え「鳥水の紀行文を考 たことを教えてくれる。 て発見したものが財産になってい いる、と説明。「歩くことによっ 道に出て帰った紀行文が綴られて 甲府に入り、富士川を下って東海 東京立川から多摩川沿いを歩いて 景』を手に掲げ、この本に鳥水が 車に乗って通るより重要だっ 味がある

> 開した。 姿や立山 一々を偶然発見した、 に向かうときに越中 と持論を展

見した山は乗鞍岳で、乗鞍岳に登 なかで自分に気づき高山を選んで を受け、旅としての漂泊を続ける 登りはまだまだ未知未開の分野だ 躍する背景について、近藤氏は「山 かにした。 って槍ヶ岳を発見したことを明ら いった、と述べ、鳥水が最初に発 昂が著した『日本風景論』 った」と表現。明治27年に志賀重 さらに鳥水が登山家として活 の影響

いた探検時代にふさわしい風潮が した。そして「当時は山を巡って 岳登頂ルートを歩いたことを紹介 にわたって鳥水が辿った同じ槍ヶ そのうえで、近藤氏自身が2度

中山道を歩き、

飛騨山脈の大きな

あった。ガイド本はなく、

と話した。露伴にならって鳥水が の紀行文に憧れ、影響を受けた」 のに極めて精緻。鳥水はその露伴 を始め博学で読書家。物事を見る る。露伴は明治20年代から物書き えるとき、幸田露伴が影響してい

の憧れをもって活動した。 塘 彼にと

金刀比羅宮に建つ北原白秋の歌碑を訪ねた近藤信行氏

昭 和 34、 内寂聴さんの生家があることを知 際には、 徳島市の象徴・眉山にロープウェ の取材で訪れたのが最初だった。 松山・今治市へ、美空ひばりさん の数々の縁についても詳しく紹介。 ことがある」と締めくくった。 なかにプロフェッショナルなテ っていた」と振り返った。 からなかった。集まりで同席した った。彼女がまだ新人のころだっ ーで登った経験では つ って文学、芸術、 ・を見いだした。大いに学ぶべ たかもしれないが、 講演会の冒頭、 海のものとも山のものとも分 彼女はよく阿波踊りを踊 35 年、 愛媛の八幡浜から 近藤氏は四国と 山歩きは余暇だ 「裾野に瀬戸 しかしその き

普通の世界からはみ出し者にな

間大きな旅行をしていたことを取

また鳥水が当時、

年に1回2週

り上げ「登山は坊ちゃまのものだ

った。他の人が登山をすることは

濃くなる様子が分かると分析した。

する文」では山を伝える意識が色 強調した。加えて鳥水の「山を讃 すことが大切だった」と近藤氏は 風景論』も役に立たなかった。自

目で確かめて記録し、

後世に残

部歌に用いた慶応大学山岳部と金 碑があることにふれ「同じ歌詞を と話した。 幸夫さんも由来は知らなかった」 のか長年興味を持っている。 刀比羅宮とがどういう関係がある 原白秋が作った山の唄 夜明けよ霧よ…」から始まる歌 また、香川県の金刀比羅宮に北 「守れ権現 三田

た。

国山岳夜話 北川淳一郎氏の晩年の随筆集 さらに愛媛県松山 』を手に持ち、 市 の登山 北川 家・ 四四 氏

> た」と語った。 にすぐ取り込むことが得意だ 氏は「深田氏は聞いた言葉を作品 ったことを指摘したうえで、 造語ではなく、 た「山格」という言葉が深田氏 名山の著者・深田久弥が使って であることを詳らかにし、 が 「山格」という言葉を生んだ人 北川氏の造語であ 日本百 近藤 0 15

深そうに話した。 たずまいに思いが巡った」と感慨 の深い山を思い、 印象について「大きな川だ。 5 ・眺めた四国一の大河・吉野川の 近藤氏は徳島に来る際、 祖谷の静かなた バスか 上流

況もある」と疑問を投げかけた。

近藤氏は最後に「鳥水は未知へ

登る人がいるという嘆かわしい状 の風潮について「何も感じないで る」と話した。続いて現代の登山

られたメッセージが読み上げら 香川県在住の三谷統一 媛県出身の写真家・白川義員氏と この重廣恒夫氏のあいさつと、 この講演会に先立ち、 郎氏から送 関西支部

城跡」、 員 を運び、 見学した。午後には金比羅宮に足 る国特別名勝 鳥水が生まれた高松市番町と鳥水 ゆかりの香川県内を散策。 先祖が務めていた国史跡 講演会の翌日には、 一般参加者ら18人が小島烏水 高松藩の庭として知られ 長い階段を経て北原白 「栗林公園」 近藤氏と会 午前中、

0)

もので、 がないことも分かった。 また、歌碑は金刀比羅宮が建てた でさすりながら周りを歩いていた。 と何度も感想をもらし、歌碑を手 歌碑を見たいという長年の願いを 0) かなえた近藤氏は「来てよかった」 の唄を刻んだ歌碑を見学した。 慶応大学山岳部とは関係

翌日、 小歩危」の景勝地を楽しんだ。 と断崖に挟まれた峡谷 カズラで編んだ「祖谷のかずら橋 に思いを馳せた近藤氏は、 徳島に入った際、 祖谷渓谷を訪ね、 吉野川の上流 シラクチ 大歩危 さらに

Ν

杉崎 満

膨大な日記や地誌・絵図は、 まざまな暮らしぶりを記し、 7 5 4 を歩き続けた旅人、菅江真澄 風土とそこに生きる常民のさ 2 ゾと呼ばれたころの 0 級史料となっている。 1829年)、が残した ほ ど 前 ま 北 だだ 0) 陸を 民俗 辺境 大地 奥の $\widehat{1}$

ばす。 平山・栗駒山など。恐山、 八甲田 身近な山は無論のこと、 とだったが、山にも登っている。 旅の目的は「諸国の神社寺 神仏を祀る高山にまで足を延 名勝旧跡を尋ね歩く」こ 恐山・岩木山・十和田 記に北の 白神山地、 栗駒山 高 森吉山 山を拾うと、 里人が崇 には 大 Щ Щ Þ

S

会員の皆様のご意見、エッセイ、 俳句、 短歌、 詩などを掲載する - ジです。 どしどしご投稿く (紙面に限りがありま すので、1点につき1000字程

違う二つの登山に触れる まで登ってい ここでは、 寛政8(1796)年 る 息 遣 が 他 11月 暗門 0) 初 لح は め

の毛皮) ながら なときに滝を見に 下ろし の根元を踏みしめて、 う少しもうしばらくと語りあ る雪中を迷いながら峡谷を遡る。 てくれた 滝」を見に登っ 北麓目屋河原平から、 (『雪のもろ滝』、 岩木川源流の白神山地に 岸に生茂った小笹をつかみ、 雪に手をつき、 晩は滝場の上にあ **『菅江真澄遊覧記』** 小屋に泊るが、 旧暦だから今の 冷や汗をかく心地で滝を見 (略) を着て、案内人と友と凍 **ク**かっころタ 登ったり下ったり」、 と目 たのが 梢を踏んで、 以下日記名と文 来る物 記に記 ここで 12月初 平凡社 った山人た 雪の中に立 宿主が貸し (カモシカ その 好 す。 ぞん きは に準 め ŧ つ ί,

度でお願いします)

案内人のカンジキの跡をしるべに て掻き分け、 でナデ(雪崩)に遭遇する。 手に小長柄という杖をつく、 つまご藁沓を履き、 た被りものをつけ、 頭に奴帽額 で滝まで往復する(『雪の秋田 屈強な案内人3人を雪踏みに頼ん 見るために、 北麓小又峡にある「白糸ノ滝」を 年12月のことで、 頭巾)、その上に萱ごもで作 もう一つは享和2 身を打たれて目がくらむ (雪かきへら)を雪に突きた (寒いときに被る布製 ここでも雪山の厳し 木の枝を折り敷いて、 阿仁から豪雪のな 北秋田 蒲のはばき 足にカンジキ、 $\widehat{1}$ 「の森吉- $\begin{array}{c} 8 \\ 0 \\ 2 \end{array}$ 途中 根 吹 か、 つ Ш

0)

まだかってみたこともな 11 لح さを

がつの 時には鬱屈するものに耐え難くな 民が食うに事欠く北国を一人息を 功名心が強い人ではなかった。 仰心の篤い、 待ったほうがいいことを知りなが ひそめるように旅を続けていた彼。 な心情~ 冬の厳しさを充分知り、 かねて聞く「白糸ノ滝」 としたことである。すでに北国 日記にその動機を記して たって (略) れ落ちている景色を見たいと思 一つの登山には さて、 あえて冬山に挑む真澄。 の二つ ŋ があると聞 他の登山と息遣いが が感じられる。 0) 自己抑制 登 (『雪の秋田 (『雪のもろ滝」 強 Щ 15 ,制の強 い衝動 て、 世 間 真澄は信 雪解けを [根])、 が雪に流 *i* , 見たい心 £ \$ のよう 知ら この 違う لح 13



今 できそうだ。 先 づ 駆 けることも け 登山 0) つと 文化

菅江真澄が描いた暗門ノ滝 (『雪のもろ滝』秋田県立博物館蔵写本より) を晒 を強 つ 時 つ い。二つの雪山 た は た 0) す ょ か ί, かもし る自 ŋ ಕ್ಕ 以外にな 強 一然に が抑 そんな

登

れ

か

制

指導委員会 活 動 報 極的に

日本山岳会の

活動報告です

各委員会、同好会の

ようか。 勧誘するべきではない で L

昨年からクランポン、 これらの講習 この講 アイス 入門の

復興にあたり、その構成を立て直

すために次のようなことを考えま

中心では立ち行きません。そこで

までのように大学山岳部の卒業生

その準備会を行ないました。これ あった青年部を復興させるべく、 青年部の復興

9月9日、

しばらく休眠状態に

これまで4年間にわたりセルフレ スキュー講習会などを行なってき 観点からも重要ではないか、 とが、これからの会の運営という さらに青年部で活動してもらうこ 会に入会してもらうよう勧誘し、 ました。この講習を受けた人を本 会員外から講習生を募集して と思

にふれる楽しみを持つ青年層を積 さらに、 さまざまな登山形態で山 昨今の登山ブームを歓

実は、

10年ほど前にやはり再生

習修了生も含めて、 おさらいしました。 活動も低迷し、 かたちでヒマラヤ登山も青年部 ラヤ登山を繰り広げたこと、 まりました。 学山学部出身者に声をかけました。 学生部の活動を通して学生のころ を契機に入会してきた人たちと、 講習も行なってきました。 つ には青年部が時代を代表するヒマ たこと、1980年代から90年代 談会という名称で青年部が発足し から本会の活動に参画してきた大 アックスを使った冬山登山 たことなど、 その結果、 セルフレ 大学山岳部の低迷と呼応する ンスキ 1971年に青年懇 準備会には11人が集 これまでの歩みを 休眠状態の今に至 ユ | 講 習に加 その え

う考えを示していました。 泊まりの山行があってよい、 ヒマラヤ登山だけにあるのではな きすでに、青年部の活動は な活動を始めたのですが、 という位置づけで、 夏の魚釣り山行や、 青年部は新た 冬の小屋

岳会青年部の活動であると責任を っていく山行が、 るとは考えていません。 すぐに大きな存在感や実績を示せ 部を作り直していくわけですから、 ンバーも参加して、 逆に、これから自分たちが行な 雪山を始めて1年目というメ すなわち日本山 これから青年

に復興後第1回委員会を開 しょうか。 このような青年部が、 9 月 29 き、 動 日

持ってもらえばよいのではないで

だと、 年部の登山のあり方が形になるの ていけば、 ものなのか」を常に考え、 き出しました。 、上にあるもの、とは一体どんな 自分が持っている山登り いうことを期待してやみま おのずから次世代の青 模索し Ó

山の自然学研究会

その

決して

生物の多様性を探る マダガスカル縦断12 \Box

バオバブの木、 サザンクロス街道を進む。 午後、 その夕日と南半球の星は素晴らし 周辺のイサロの奇岩、 性を実感した。 乗り換えアンタナナリポに到着。 バンコクにてマダガスカル航空に は成田に集合。タイ航空にて出発。 かった。 アカ猿を見分け、 現地住民の集落実態を垣間見る。 27日快晴、 26日快晴、 9月25日9時、 国内航空でチュレアール着。 貸切バスで一路北へ、 ホテル周辺を散策 ラヌヒラに泊まり、 インドリ科のシフ 島の生物の多様 ツアー一行8名 原野は広大 早くも

を見る。 ルへ植生探索。 公園を探索。 28 快晴、 7 午後ナチュラルプー キ・キャニオン自然 数多くの珍種植生

岩の山、 どのイマリヴラニチャ山を望む。 を見る。 いでインド大陸と離れたマダガス コンドワ大陸、 29日晴れ、 絶景のボネドパ 島で2番の標高2658 再びサザンクロス街道を 宿の庭にカメレオン アフリカ大陸、 、ップなど巨 次

を見に行く。 カル島の基岩をなす山々だ。 マファナに宿をとる。 ラヌ

進み、 べ町に着く。 ラヌマファナ国立公園の熱帯雨林 類をそのままの姿で観察。 30日快晴、 標高1500点のアンチラ 各種野生ラン、 セタムロッジを出 各種原猿 街道を

学。 横跳びに感激 のレムール 変わる。 の島だ。 10月1日晴れ一時曇り、 宝石商に寄る。さすがに宝石 傍で彼らを見て、 女性メンバーは目の色が 午後アンタナポリス郊外 (原猿類) 原猿たちの パークを見 市

に面した南洋ムードのところだ。 巻であった。 モロンダバへ、 心配だが、夕日のシルエットは圧 お目当てのバオバブの林を見に行 2日快晴、 100本あまりの林で絶滅が 国内航空で西海岸の モザンビーク海峡

の部落は、 ル ニア漁村を訪問。 島を離れ、 3日快晴、 4日晴れ、 空路アンタナナリポへ戻る。 午後空港からマダガスカ 漁業で少しは豊かそう。 バンコクへ向かう。 アンタナナリポ市 カヌーに分乗、 1 Ō Ŏ 0人ほど ベ 街 タ



夕日が美しいパオパブの林の下で

充実感一杯の笑顔だ。 5 日 6日6時、 バンコクを観光後、 成田着。 参加者は 成 田

数々、 るほど懐かしい。 びっきりの笑顔の子どもたち。 広がる棚田、 島だった。横跳びするシファカ、 宝として残ることを願いたい。 自然環境は刻々と変貌を遂げて の場面を思い出しても胸が熱くな 十分に満たしてくれる期待以上の マダガスカルは皆の好奇心を いつまでも素晴らしい自然が バ オバブの幻想的な風景、 ホテルで出合ったカメレ 赤い大地と巨岩 マダガスカルの ど لح オ 15 0

22 日、

秋田空港~仁川空港~釜

なり、老姑壇(1507㍍)で中の予報のため盤若峰は入山禁止と

夜は韓国の郷土料理プルコギ

(丸山さかえ、 明

訪韓登山を終えて 支部設立50周年記念事

盤若峰(1751㎞)と月出山パラーボーンとして、韓国南部に位置さとつとして、韓国南部に位置さ 7名の参加で実施した。 エンザの流行により延期。 力のもとに登山する予定であった している韓国山岳会慶南支部の協 り トメリ ルリ 周年を迎えた。 1年遅れの平成22年5月に支部員 秋田支部は、 直前になっての新型インフル の二山を選び、 韓国南部に位置する 平成21年に設立 その記念行事の 姉妹交流 そして 8

智異 峰を目指したのだが、 歓迎会を開催していただいた。 の花束で出迎えを受け、 山空港経由で入国。 23 日、 絶景は望めず、 (山連峰の西端に位置する盤若 慶南支部17名の案内で、 そのうえ、 空港では歓迎 雨のためそ 馬山市 豪雨 で

くの絶景も残念ながら今日も望め

ったが、

一日中ガスの中で

せっ |山に登 道

端にそそり立つ岩山・月出

告書をいただいた。

24 日、

光州の南、

南

0)

南

ある朴相洙氏からヒ

山報

をいただき、

エベレスト登頂者で マラヤ

全国各地の支部から、 それぞれの活動状況を 北から南へとリポート します。

雨の老姑壇登山口にて

橋を渡るコースをとる。下山後、 橋を渡るコースをとる。下山後、 見学。職員から月出山の動植物に 見学。職員から月出山の動植物に 見学。職員から月出山の動植物に 見学。職員から月出山の動植物に っいての説明を聞く。月出山も老 な増同様、国立公園として施設が 整備されており、鉄階段や橋、救 整備されており、鉄階段や橋、救 整備されており、鉄階段や橋、救 が進んでいる。

駅に着き、そこから立派な階段が なものであった。晴天のもとに多 営市街が眼下に広がるさまは見事 む景観は、 頂上となる。 延々と続き、 る。弥勒山はロープウェーで山 や五・二十六動乱の博物館等を巡 展望台のある弥勒山 海上国立公園 秋田での再会を約束し、返礼の交 流会を開催させてもらった。 くの観光客で賑わっていた。夜は 馬山市近くにある巨済島 海に島々が浮かび、統 展望台のある弥勒山 山頂の展望台から望 (海金剛)を観光。 (461 h)

害で、

他人とのコミュニケーショ

ものへのこだわり

いなど症状は人それぞれである

合い、27日に帰秋した。 慶南支部同様に更なる親交を深

め

んが

目閉症児の上高地キャンプ

ッテ 月末、 挑戦した。集団生活を苦手とする だ」。到着した親子らは喜びを のサポートを受けて、全員そろっ 自閉症患者だが、茨城支部員8名 らとともに北アルプス、 て登り切った。「やればできるん 茨城県内の自閉症の12 開症は生まれつきの (2170以) までの登山に 療育の一環として、 上高地を 一望した。 岳沢ヒュ 脳の障 保護者 人が8

09年、磐梯山登山を行なった。 い、茨城支部にバトンタッチして に、 の4年富士登山、05年日光社山 を「つくも会」が協力登山を行な で、同県自閉症協会が04年から実

母親が何とか励まして、

登山を続

する癖がある」と気にかけていた

などと「絶望した言葉を口に

日ごろから「おれはもうダー」「下山したい」と弱音を吐

めて約1時間後、 ぞれの特徴を把握することにした。 ことが、うまくできないので、それ って人とコミュニケーションする 外の身振り、 わりで始まった。 のなかで、 8月28日、 員3名の協力により実施された。 29日5時、 今年は茨城支部員8名、 自閉症との細やかな関 水戸市を出発したバス 山研を出発。登り始 表情などをうまく使 高校 自閉症は言葉以 一年の0さ 山研委

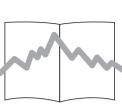


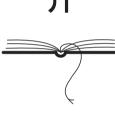
自閉症児とともに楽しんだ上高地で

だった」と言い、登山を達成した の、保護者の多くは「うれしそう 部員8名が先頭から最後尾までに 我が子の気持ちを察していた。 山した。表情はわかりづらいもの つき、全員ケガもなく、 つ山々の絶景を満喫。下山は、 た上高地や、 をあげる。 とつない晴天で、上部雪渓に歓喜 ユッテへ到着した。 約3時間後には、 他の人たちも、 〇君は歌を歌ってご機 乗鞍岳などそびえ立 眼下に広がっ この日は雲ひ 全員 無事に下 が岳沢ヒ 支

8名は満足の笑顔であった。 30日、帰りのバスの中で、同協 たい」との言葉に、茨城支部員 ほしい」との言葉に、茨城支部員 ほしい」との言葉に、茨城支部員 ほしい」との言葉に、茨城支部員 のがすることを、世間も知って はしい」との言葉に、茨城支部員 のがあった。

諏訪 肇)





『裸の山 ラ インホルト・ ナンガ・パ 平井吉夫・訳 メスナー ルバート

2010年10月 山と溪谷社刊 四六判 391分 定価 1890円

裸の山

の間での闘争の舞台となった。 5点のナンガ・パルバートは、 と人との間だけでなく、 ぶ、絶壁を高く突き上げる812 地の人たちが「裸の 人と人と 山 」と呼 Ш

想にそむく形で登頂が果たされた。 ナンガ・パルバートは指揮者の構 語を作りあげたのとは対照的に、 明確な指揮と服従のもとで登頂 峰アンナプルナと世界最高峰エ 1953年に単独で初登頂したへ レストが、登山隊の綿密な計画 マン・ブー 最初に登頂された8000以 ルの場合が か、すでに 物 닏

そうだった。

びた。 念と不信が綾なす悲劇の様相を帯 揮者の不興を買って、すべてが怨 だった。演出者である遠征隊の指 死と下山のルートは予想外の結果 わった。メスナーにとっても、弟の 兄弟によるルパール壁からの登頂 ッファーの意図と異なる結果に終 そして1970年の 遠征隊を組織するヘルリヒコ メ ス ナー

来事を、今にして初めて詳細に ガ・パルバート登頂に起こった出 よって私たちはメスナーの、ナン めの処分を受けた。この翻訳書に だが、物議をかもして出版さしと その部分は以前に発表されたもの 70年の登頂とその後日談を語る。 占める第七章以下の部分が、19 ることができる 本書全体のおよそ3分の 2を 知

ある内容だが、第一章からの、こ れだけでも十分に読 説み応

0)

にされる 舞台背景と主演者の性格が明らか の最高度に困難な山の初登頂まで [得の努力を語る部分によって、 歴史とメスナー兄弟の登攀技術

である隊長は、メスナーをイタリ えた男。このドイツ的なドイツ人 義兄のための弔い合戦の執念に燃 かつてこの難攻不落の山で死んだ 矢を立てたヘルリヒコッファー。 つとめるのが、メスナーに白羽の ラマに似た構造だった。プロデ で真っ先に感じたのは、 か思っていなかった。 から呼び寄せた助っ人の役割と サーと台本作家と演出家の役を 舞台と主演者。私が本書を読 まさにド h

小気味よく躍動する訳文がすばら ら語る。湿り気を帯びることなく 書はこの悲劇をメスナーの立場 かったことが、ナンガ・パルバ いう主人公の役が想定されてい た。メスナーに名誉ある登頂者 演出家の構想した筋書きを狂わせ での悲劇の根本原因だった。本 結果的にメスナー兄弟がこの (宮下啓三) 1 か な لح

中の登山者にも推薦したい。

1

石原裕 郎 蓍

首都圏 親しみの登山



2010年 9月 心交社刊 A5判 199分 定価 1575円

である。 であり、 高年に贈る魅力の低山総ガイド」 副 題は 低山登山 Щ ガ 1 のガイドブック ル . ヤング・ 中

と決心。 2008年に現地で脳出血を起こ とあとがきにある。 たちとの山行から本書が生まれた、 ヒマラヤの しかし「またヒマラヤが見たい_ して左半身麻痺の後遺症が残った。 著者は20年以上毎年ネ リハビリを兼ねた山仲間 に通い続けてきたが 低山 5 だからり 6 1 ル

されていないような、ごくマイナ の第一は、 鋸山などが相場だが、 百蔵山、 といえば普通は高水三山 な山ばかりが紹介されている点 他のガイドブックにない特徴 例をあげると、 大山、 市販の地形図にも記載 金時山、 首都圏の低山 これらはひ 伊 陣馬山、 豆ヶ岳、

とを願うばかりである

トヤド浅間、 ているのは牡龍籠山、 とつも出てこない。 久須美山など54のコース。 太鼓曲輪尾根、 久久戸山、大築山、 勝峰山、 取 論地山、 茨菰山、 万六ノ頭 り上げられ 虎秀山、 蔦 天

どの低山は歩き尽くした、 隅をつつくような、という見方も に分けて紹介されている。 登山者には恰好のテキストとなろ できるが、すでに首都圏のほとん という 重箱の

げなく記され読んで楽しくなる。 載もない。本書の概念図のみに頼 りどころ=藤野町郷土資料館、 れているのだが、これが埋蔵 した説明になっていること。 ように情報が多くなく、 (立ち寄り湯=陣谷温泉、 すぎた初心者が道に迷わない 所を記した絵図のごとくわ いもの=吊るし柿〉などとさり 「コースデータ」という囲み 山ごとに概念図が挿入さ おまけに二万五千図 大ゾウリ山のページには 他 の ガ あ イド 立ち寄 めつさり ちな 金の ヮ か 本 美 記 'n $\dot{\sigma}$

れている。

圏とあ 限定されている。 なぜか都心から西方の一 の本 るから続編も期待できそう で 取 り上 本の題名に首都 一げら (上村信太郎 部地域に れ た山

ヒマラ ヤ 上村信太郎・構成岡本まさあき 初登 頂物語 文画

ることができる。

高線、

西武線などの鉄道沿線ごと

これらがJR五日市線、

J R

八



山と溪谷社刊 定価 1050円

ンナプ の壮絶な闘 (8163パル) ル ラ 88 ナ ヤ 0) 0) 4 8 | * | * | * | * | * | * | 8 0 9 1 8 3山には、 人間ドラマ 0 0 トメルー トメルー 2010年8月 マナスル 自然と 峰 が A5判 192分 エベ 残さ Oア

ヒ

7

レスト

果として最も険しい北面だっ 当時は満足なヒマラヤ 登山者の勘で選んだル によるアンナプルナの物語である。 峰の初登頂となった、 の生還」で、 | 預後は雪崩、 いながらの 第1章は 「栄光の初 人類初の 下山で、 クレバス、] |-登 彼ら2人は 地図がなく、 フランス隊 8 0 0 頂と奇跡 凍傷を が、 0

> る。 払っている。 手足の指が計 のマンガでリアルに描 切断される、 壮絶な物語 30 本も という代償を (壊死回 かれて が岡 本さ 15

マロ 有名な言葉がある。 ですか?」という婦人の問いに、 なぜエベレストに登ろうとするの 来事からはじまる。 は続く。 募隊の登頂、 壁からの登攀、 次々とアンナプルナをねらう。 7 その後 そこに山があるから」 いる。 第2章は「英国隊32年の リリー 1924年のエベレスト アンナプルナ登山史である。 上村さんは膨大な資料を 上村さん わかりやすく取りまとめ その後、 のアンナプル (38歳) あいつぐ遭難、 日本隊の悲劇、 が、 の解説 他の外 ジョー あなたは と応えた、 ナ が 国 登 ジ H 挑戦 なさ と話 め出 隊 Ш 公 南 が れ 概

ンド)とテンジン 玉 0) |隊で1953年である。 世界の マロリーらふたりがエベレスト 同年6月6日に、 なヒー たヒラリ そして帰らぬ人になった。 最高峰に登っ 口 1 1 はイギリス人で (ニュー (シェルパ) アタック隊 たのは、 そこに ジー 英 ラ 員

> では、 様がマンガで掘り ンルートからの登攀がある、 れている。近年は最高峰エベレス トを舞台に、 その後のエ いかった 各国登山隊が数多く紹介さ 0) 多彩なバリエーショ ベレスト登山 32年間 下 げら れている。 0) 概史 人間

物語だ。 うか。 の遠征隊がマナスルを初登頂した かれている。 ラマ僧たちにいかに理解してもら ャンプすら作れなかったことだ。 術的な問題よりも、 き」で、 人の宗教的な理 第3章は「日本 それらの苦労がマンガで描 日本隊の苦労は登攀の技 1956年に日 強から、 登 現地ネパール 山 史上 本山 1 スキ 岳会 0) で

成功し 一その後のマナス 日本隊 た、 玉 がマナスルに初登 丙的 ル な意義にも筆 登山 .概史 預に

挑 つ。 頂が成されて、 1, 、む登山家は風化されることは ヒマラ 同 と読み取ることができる。 書からは、 ヤ 8 0 もはや半世 0 自然との闘 峰 紀が経 0) 初



会 平成22年度第6回 (10月度) 理事

場所 日時 【出席者】尾上会長、 日本山岳会会議室 分~20時30分 平成22年10月13日 神崎・宮崎 18 時 35

理事、 萩原各理事、 藤本各副会長、 各監事、 山川・野沢・中山・永田・ 太田・堀井・相馬 近藤・ 深川・平井 成 酒井各常 《川常務

(委任) 欠席者 岡部常務理事、 森常任評議員 谷川 理 事

任評議員

にしたい。場合によっては臨時理 事会開催も視野に入れ、熱の入っ 第2回総会で議決することを目標 内には公益か一般かの選択を理事 た議論を通じ万全を期していきた 会としての合意形成をし、今年度 新法人移行期限を考慮すると年 審議に先立ち尾上会長から、

> れた。 況についての説明、 ームからそれぞれの活動の進捗状 13 続いて4つのプロジェ との挨拶があった。 報告が行なわ クトチ

審議事項

設立後援名義使用願い ハセツネモニュメント(石碑) (神崎)

長 造り青梅市の御嶽神社境内地 谷川恒男の20年祭に同氏の石碑を から平成23年10月に開催予定の長 名義使用願いがあった。 尾平に設置する計画に対する後援 ハセツネ石碑設置委員会(委員 佐藤旺、事務局 長谷川昌美) 長

継続審議)

依頼 日本登山医学会学術集会協賛 (堀井

2.

った。 会学術集会に対する協賛依頼があ 1開催予定の第31回日本登山医学 日本登山医学会から来年6月 (承認)

3 載承認依頼 中村清太郎油絵 「白馬岳」 収

依頼があった。 に寄託中)を収載する事への承認 油絵「白馬岳」(大町山岳博物館 山岳会が所有する中村清太郎作の 75周年記念画集』の巻頭に、 井清)から、発刊計画中の る日本山岳画協会(代表幹事 来年1月に創設75周年を迎 創立 (承認) 日本 武 え

4. ロゴマーク使用許可願(宮崎)

名刺、 する許可願いがあった。 にそれぞれ会のロゴマークを使用 創立35周年記念に発刊する記念誌 埼玉支部から支部報、 また、同好会三水会から同会 郵送用封筒および総会資料 支部役員

5. 支部長交代 (宮崎)

<u>6</u> ° 前支部長・日下田實会員(414 部長・山野井武夫会員(4633)、 栃木支部 (10月1日付) (承認) 新支

(報告事項)

ション(宮崎 第42回新入会員オリエンテー

今後の開催時期、 者は例年該当者の2割程度である 全国の会員が対象であるが、 10月2日、 当ルームで開催した。 開催方法等を検 参加

討したい。

名誉会員を囲む会 尾上、

宮

崎

誉会員10名が出席して、10月6日 に日比谷松本楼で行なわれた。 恒例の名誉会員を囲む会は名

3 2010年永年会員名簿 (宮

会に招待をする。

30名である。12月4日の年次晩餐

22年度の新永年会員該当者は

会 (宮崎) 第11回ライチョウ会議石川大

13 催される。 石川県政記念しいのき迎賓館で開 今年のライチョウ会議 14日の両日、石川県金沢市 は 11 O月

5 会報 Щ 10月号編集報告 神

長

とになった。 間以上にわたり行なわれ、 事会で引き続き意見交換をするこ の質疑など真剣な意見交換が1時 「公益」、「一般」の選択について 議事終了後、 新法人移行に関

						135,24																					
22 日		21 日	20 日			19 日		18 日	16 日	15 日		13 日	12 日		8 日		7 日		6 日			5 日		4 日		2 日	ル
岳賞審查委員会 秩父宮記念山	検討PT	科学委員会 法人改革対応	山岳地理クラブ つくも会	スキークラブ 00会	ンターネット小委員会	山岳研究所運営委員会	会	総務委員会 資料映像委員	評議員会 スキークラブ	東京多摩支部	クラブ 休山会	理事会 三水会 スケッチ	スキークラブ 緑爽会	クラブ	海外委員会 フォトビデオ	学研究会	学生部 三水会 山の自然	みちのり山の会	常務理事会 集会委員会	ブ	検討PT スケッチクラ	図書委員会 法人改革対応	りの会 九五会	総務委員会 高尾の森づく	ン	新入会員オリエンテーショ	一ム目説 介明
		野田憲一郎 (5805)	終身会員	中西庸夫(12141)北海道	村田智俊(11798)京都	片山 啓 (9822)	和田庄司(8522) 岩手	三富一弥(7028) 越後	退会	奥山 巌 (10467) 10:10:7	船木威志(8551)10.8.11	白鳥健二 (8018) 10・9・2	佐々木徳雄(6108)10:10:8	寺本 滉 (4603) 10·10·29	物故	会員異動(10月)			10月来室者625名	30日 全国山岳博物館等連絡会議	遊会	対応検討PT 01会 山	28日 自然保護委員会 法人改革	27日 自然保護委員会 麗山会	ブ ゆきわり会	26日 青年部 フォトビデオクラ	25日 JAC-YOUTH PT

図書受入報告 (2010 年 10 月)													
著 者	書 名		ページ/	サイズ	出版元	刊行年	寄贈/購入別						
桑野正光	栃木の峠	-峠でたどる暮らしと文化	215p	/ 21cm	随想舎	2010	著者寄贈						
山女子	山女子宣言一	― はじめての山・おすすめ 30	159p	/ 21cm	イカロス出版	2010	出版社寄贈						
R.メスナー/平井吉夫(訳)	裸の山ナン	ガ・パルバート	391p	/ 19cm	山と溪谷社	2010	出版社寄贈						
日本山岳会三水会 (編)	35 年の歩み-	——日本山岳会三水会創立 35 周年詞	2念誌 86p	/ 21cm	日本山岳会三水会	2010	発行者寄贈						
服部文祥	百年前の山を	旅する	238p	/ 19cm	東京新聞出版部	2010	著者寄贈						
高木誠	氷河の消えた山	高木誠写真集――梓川源流で時を刻む大地	と生命 143p	/ 25cm	東京新聞出版部	2010	出版社寄贈						
山本修二 (編著)	岳人備忘録-	──登山界 47 人の「山」	495p	/ 21cm	東京新聞出版部	2010	出版社寄贈						
労山ハイキング委員会(編)	ハイキング セカ	ンド・ステップ――ハイキングリーダー養成テ	・キスト 68p	/ 26cm	日本勤労者山岳連盟	2010	発行者寄贈						
労山ハイキング委員会 (編)	ハイキング A	・B・C安全に楽しく山を歩く	きめに 58p	/ 26cm	日本勤労者山岳連盟	2003	発行者寄贈						

争下の登山 第 39 満州 回 事 1山岳史 変 か 人懇談会 太平 洋 「十五年戦 . 戦 争 敗 戦 インフォメーション \mathbf{H} 時 \mathbb{R} 12 汁 月 5 H 進 (日) 備 雨 17

申込 費用 解散 年 1 14 時ごろ 次 R 0 横 晚 0 須賀線 一餐会の 0 円 (含む 北鎌倉駅 出 欠と同 天決 写真代等 前 時 10時 15

期

間

30

3Ò

社会の

流

'n

で

は

15

5 えども

な

つ た。

Щ

艍 1無関係

戦

技

研

究会」

な れ

تغ

0)

15年

間は、

登

山

とい

5

「上高地山研」年末年始オープン 肼 運営委員

問 場

IEL

0 ラ

 $\frac{2}{2}$ $\frac{2}{3}$ $\frac{2}{7}$ $\frac{2}{1}$

2

6

所

ヤ 分

1] 19

1 時

さ 分

か

65

申込 間 11 TEL 月 月 & 26 末 FAX ま H 0 で (4 23 年 1 4 柴山 ġ 月 0 4 信 0 日 3

テンジン・ヌ ヒ ĴΙ 絵 画 展

東京、 のテンジン・ マラヤ 京 都 最奥 などで ヌ ル \hat{o} 開催 ブ 地 氏 3 0) F ħ 絵 ル 画 ポ 展 出 が 身

問場

所 時

本山

4

号室

 \mathbf{H} \mathcal{O}

12

月 7 法氏

Ħ 岳会1

(K) す

18 0

時

30

分

n

上梓

た

Ħ

|本勤

労者

山

岳

連盟会長

3

西

武

で

争

下 語 わ

 \mathcal{O}

登

Ш

研

究

1

<u>|</u>

を

1) つ

丰

は

0)

夏に

Ŧi.

车 0)

戦 か。

か B が か

たの

か

そして抗っ

た

期

登山

者はどん

な立 くな

瑒

で

戦

争に

か 界

組織されて

13

か

で、

登

山

JAC冬山天気予報

指導委員会

日本山岳会では、JAC冬山天気予報をメール、インターネットで配信いたします。 すでに登録された方は、再登録の必要はありません。配 を希望されない方のみ、下記のサイトより登録の解除を お願いいたします。

すでにメールアドレスが登録済みであれば、「エラー 対象のアドレスはすでに登録されています」のメッセージ が表示されます

か表示されます。 天気予報は、登山専門気象予報士が期間内に毎日発信し ます。メール配信版、パソコン版との2通りで、登山中も 携帯メール(電波が届く範囲)で天気予報を受け取ること ができます。

無料。日本山岳会会員以外でも利用可能です 2010年12月17日金~2011年1月16日(日) ①北ア北部(剱・立山) ②北ア南部(槍・穂高) 利用料

③八ヶ岳 (福子福田) 3 八ヶ岳 (福子福田) 3 八ヶ岳 (福子福田) 3 八ヶ岳 本天気予報を担当する気象予報士は、中大山岳部OBで、チョムカンリ、エベレスト西核、チョ・オユー、ヨセミテ などの登攀経験のある登山家でもあります。なお、JAC 冬山天気予報は、情報配信の技術的試験を行なうものであり、本天気予報の結果、およびその利用に伴い生じるいかなる問題についても当会は、責任を持つも (福子福田) 4 (福子福田) 4 (福子福田) 5 (福子祖) 5 (福子福田) 5 (福子福) 5 (福子祖) 5 (福子福) 5 (福子 のではありません。

【JAC天気予報】

眺望、

模湾 イ

越

Ō

富

 σ

景色

を

映

画

ラ

1

F

1

ク

シ

鎌倉

丰

グです。

東京

湾

 \mathcal{O}

問 *

合

TEL

3

3 2

0

8 \exists

1

今年

Ò

晚餐会記念山

行は、 集会妥員会

所

Č I

ラ

ラ

ブ

1

ス

プ

ラ

18 月

時

晚餐会記念山行

4mm@mbe.nifty.com

間

12

4

H

(±)

12

日

(日)

11

時

0 好

1

918

0

1

ま

き

子 6

Œ

0

9

0

お

楽しみくださ

13 L

昼

食 王

時に

恒

例

12

月

11

日

(±)

13

時

17

時

http://www.everest.jp/jacweather/ 携帯電話は QRコードを

【メテオテック・ラボ社 山の天気予報】 上記3エリア以外では、メテオテック・ラボ社 がメールで月額315円で有料配信いたします。

http://i.vamaten.info 携帯電話は QRコードを





ス ラ 1 $\hat{1}\hat{2}$ F 月 لح 18

H

 (\pm)

14

時

16

時

1

ク

3

問 場

合 所

I

0 7

5 7 7

2

4

2

 $\bar{0}$

法然院

L

ま

す

Ш

の

水彩画

展

屋久島 宇都 展。 など 12 ||木愼 北ア 月 0 1 水彩 日 ル 氏 (水) ブ 0 (画 ス 5 [を展 6 0) 口 槍 H Ħ (月) 亦 穂高 \mathcal{O} 12 ス 時 ケ

チ

間 12 16 月 時 15 H (水) 19 H (日)

京都 展

なホテルなどで高い会費を徴収さ

なっている。

関西などと情

報の

やり

取

りを

そのうえ、

懇親会の度に、

ネッ

環境が整備されていて、

関

どはないと思う。

学生の間

ぎりジェネレーションギャップ

山という共通媒体があるか

し彼らは、

交流も望んでいるので

チャレンジ学生ネットワーク作り③

若者に日本山岳会の将来を託す

可

はできれるのである。 なぜ若者が入会しないのか。そ が強すぎるようだ。一般的な国内が強すぎるようだ。一般的な国内が強すぎるようだ。一般的な国内が強する社
ないの登響なら自分の所属する社
ないのか。そ

持ち始めて、住宅ローンや子育て 歳代を例に考えてみよう。 もに、支部会費300 かは年会費の支払いが滞 隊でヒマラヤに行った人も、 らである。 お金をやりくりしている。 い出せないのだ。私と同世代の40 してや所属山岳会があればなおさ 会したいと考える人は少ない。 会費を払ってまで日本山岳会に入 か山岳会から離れていった。 なか、少ない小遣いで山に行く 会費が高いのも理 この金額に入会する価値を見 本部会費1万2000円とと 過去に東海支部の登 由 Ŏ Ř, 0) ŋ 多額 いひとつ 家庭を 何人 Ш ま つ

> れ、若者に参加を呼び掛けても土 けのシンプルな集いを企画出来な けのシンプルな集いを企画出来な いものだろうか。一般の若者が登 山行為以外で日本山岳会と付き合 山である。学生や若い会員向

は、どの時代でも聞かれる。 は払拭されるではないであろうか。 体を新設すればそういった抵抗感 かせていることは事実であろう。 若者に寄せ付けがたい雰囲気を抱 よるところが大といってしまえば があげられよう。 体ではなくなっているということ いっそのこと若者中心 「最近の若者は……」という言葉 れまでだが、100年の権威 さらに「山」に行くため 会員の高齢化に の別の組織 Ó しか 組 が

> 代の凄さを知った。 代の風潮というか、 学生が御在所山に集うという、 たところ全国に飛び火し、 画した。この情報をネットで流 岩登り講習と懇親登山 一西をはじめ、 ゲレンデ)で、 26 H 番 新潟や愛媛 東海学連 0 改めてIT 重 クライミン の集 \hat{O} 関東 小いを計 からも 主催 御 在 時 時 所

としたら、 しての役目を果たすことができる 0) しているのである。 目で見守り、 岳会の実現のために温か っているのである。 連のメンバーに託してみようと思 ているのであって、 £ \$ るのであるから、託さざるを得 あ 来を託さざるを得ないのは自明 どもや孫のような若者に、 発展し続けるためには、 る。 のである。 ない 先鞭をつけ、 い取り組み方を模索しようとし 日本山岳会が未来永 人はいつしか朽ち果て絶 ではないであろうか。 こんな素晴らしいこと 指導をしていこうと だから今、 東海支部青年部委員長 ケーススタディ それを東海学 東海支部 明日の日本山 小劫存続 私達は新 私達の子 13 7理解 会の将 な 0 え で

■訂正とお詫び

10月(785)号、8[※]3段13行目、英国山岳会会員が松方、吉沢「両氏のみ」となっていますが、「両氏のみ」となっていますが、でした。また、9[※]1段18行目、小島鳥水が「ニューヨーク支店長」とありますが、「サンフランシスとありますが、「サンフランシスとありますが、「サンフランシスとありますが、「カースをはいる。

◆編集後記◆

● ここ2カ月ほど、理事会は「公益法人」か「一般法人」かの選択について議論が重ねられています。 とですし、今月は11月理事会の模 を読面で再現してもらいました。 様を誌面で再現してもらいました。 19

(神長斡雄)

日本山岳会会報 山 786号

2010年(平成22年)11月20日発行 発行所 社団法人日本山岳会 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4 サンビューハイツ四番町 TEL 東京(03)3261-4433

FAX 東京 (03) 3261 — 4441 発行者 日本山岳会会長 尾上昇 編集人 神長幹雄

E-メール:jac-kaiho@jac.or.jp 印 刷 株式会社 双陽社